

市長とともに農地パトロール

南あわじ市農業委員会

【兵庫】古代から平安時代にかけて、皇室や朝廷に海水産物を中心に御食料を献上してきた淡路島は、御食園と呼ばれるほど農業の盛んな地域。島の南部に位置する南あわじ市は、タマネギやシタスなど野菜栽培が盛んで、作付面積で全国トップクラスを誇る。乳用牛や肉用牛の畜産が盛んなほか、3年とらふぐ、タイやハモなど水産物も全国的に有名な。豊かな食材に恵まれた同市でも、農業者の高齢化や山間部での鳥獣被害などによる遊休農地が課題になっている。



守本市長（左端）も参加しての農地パトロール。右端は三原会長職務代理者

タブレットも活用

こうした中、8月26日には守本憲弘市長も参加して農地パトロール出発式を実施。農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局職員が12班体制で市内各地を回った。パトロールでは、以前から導入を進めているタブレットも活用した。

ツトは、農地の所有者、耕作者もその場でわかるし、現在地が示されているので対象農地がわかりやすい」と語る。同市では、2010年から市独自の農地バンク制度を創設。遊休農地の解消や担い手の規模拡大、新規参入の促進にも結びつけてきた。

宇山会長と三原会長職務代理者は「遊休農地は増やさない。農地と農業を守り、地域の活力を維持したい」と力を込めた。（山口昭彦）

鹿害対策の継続・支援訴え 奈良市農委会が市長長に意見書



【奈良】奈良市農業委員会（巽一孝会長）は、地域の農業者や市民に対して2023年度に実施

した農業・農産物に関するアンケートの結果などを基に取りまとめた「農地等利用最適化推進施策

に関する意見書」を仲川げん奈良市長に提出した。奈良市の農業にとって重要な最優先課題である鹿害については、防止柵の設置補助や捕獲に関する支援などさまざまな対策を行ってきたものの、個体数の増加により、被害が年々深刻となっている。

この状況を解決するには個体数を減らさなければならぬと考え、今回の意見書では、対策として鹿を含めた有害鳥獣捕獲を市長に訴えた。他には、担い手の確保・育成支援や「地域計画」における目標地区の素案作成に向けた協力、遊休農地発生防止・解消対策や、社会情勢や異常気象による影響を受けた農業者に対する支援など、農業施策や農業委員会業務の強化を図るための支援を求めた。

農業の魅力伝え新規就農増へ 技術習得研修を開講

和歌山県農林大学校 就農支援センター

【和歌山】和歌山県農林大学校就農支援センターでは、県内で新たに農業を始める人の支援を目的に、各種研修や就農相談を行っている。

10月7日には、技術習得研修（第2班）を開講。習得期間は10月から



開講式と鳥居洋木所長の講義
Instagramの二次元コード

来年2月までの5カ月間（全25日）にわたり、花き・果樹・野菜などさまざまな品目を実習や講義を通して学ぶ。

今回の受講者は11人で、男性8人、女性3人で平均年齢は46・3歳。研修の最後には、自身の

同センターで技術修得研修と広報を担当する大嶋功資主査は「今年から新たにSNSを立ち上げており、各研修の様子も積極的に情報発信している。農業の魅力を広げ伝えることで、県内での就農を志す人を増やしていきたい」と話した。（大野慎介）



「いつかは洋菓子店などにイチゴを卸したい」と吉田さん

消費者に感動伝えたい いちごアカデミー経て就農

【大阪】「自分が味わった感動を消費者に伝える側になりたい」と話すのは、河南町の約30坪のハウスでイチゴを生産する吉田峻太さん（26）。

大学在学中、南河内産のブランドイチゴ「ちはや姫」を食べ、そのおいしさに感動し、就農を決意した。大阪府立農業大学校、河南町 吉田峻太さん

「目標は『ちはや姫』の認定を受けられる紅ほっぺを生産すること」と意気込みを語る。（林佑一郎）

「食」通じた地域交流を促進

京都農業体験農園・園主会

【京都】「京都農業体験農園・園主会」（事務局 京都府農業会議）は11月30日、宇治市内で「親子で楽しむ料理教室」を開催する。「食」を通じた地域と

当日は、園主会が野菜の栽培を指導している「宇治市老人園芸ひろば」で実際の野菜づくりを見学した後、旬の野菜を使った料理づくり・試食と、野菜の育て方を学ぶ講話を予定している。宇治市食生活改善推進協議会が共催する。



者にPRし、古民家を拠点にした相談会を開催。これまでに10件を超える

地域共生へ農地相談に力

委員、事務局と情報共有し対応

【滋賀】「地域の就農希望や農地あつせんなど、農業・農地に関する相談を進んで受け、他の委員や事務局と情報共有など連携を図っている」と話すのは、2020年

度から栗東市の農業委員、23年度からは農地利用最適化推進委員を務める杉田健一さん（47）。

青年 奮闘中 委員

栗東市 杉田健一さん

▷28

近

畿

近畿総局

京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入 丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660

滋賀県支局 077-523-2439

大阪府支局 06-6941-2701

兵庫県支局 078-391-1221

奈良県支局 074-222-1101

和歌山県支局 073-432-6114

「食でつながる人・地域づくり」
親子で楽しむ料理教室
参加者募集
～10月15日から～

子ども達に伝えたい 野菜の育て方
大人に伝えたい 食で健康づくり

日時・場所： 令和6年11月30日(土)
宇治市小倉公民館学習室(集合 9:00)

内容： ①9:00～小倉寺内 園芸ひ3は見学(収穫作業しません)
②10:30～学習室にて料理づくり(試食、野菜の育て方のお話し)

講師： 三島 裕二 氏
(ワエスティンホテル・ホテルオークラ京都で和食料理人として勤務)
宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」

費用： 親子で一緒に 500円 (10組、先着順)
お子様は小学生以下に限りません。

持ち物： エプロン、三角巾、マスク、手拭きタオル、食器拭きタオル

申込・問合せ先： takeshi-nakai@outlook.jp(中井 剛)

詳しくはこちらから

主催 京都府農業会議・園主会
(和歌山県農業会議・園主会)
共催 宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」
(令和6年度 宇治市未来をつくる食育推進事業補助金を活用しています)

「親子で楽しむ料理教室」のPRチラシ